

### ### 20250828 子育て支援定住促進住宅建設事業及び候補地選定理由等説明会 要約版 ###

#### ### 趣旨と背景:

南部町における「子育て支援定住促進住宅建設事業」について、町民に対する説明会が実施されました。この事業は、人口減少と少子化の深刻化を背景に、特に若い世代や子育て世代の定住を促すための政策です。議題には、具体的な集合住宅の建設計画とその候補地選定理由が含まれています。

#### ### 主な説明内容:

##### 1. \*\*人口減少の現状・課題\*\*:

- 1980年から2020年までで町の人口は約3,707人減少。
- 特に若者世代の町外転出が課題であり、大学進学、就職、結婚後の転出が進行中。
- 2040年には人口が約4,000人に減少する見込み。

##### 2. \*\*住宅整備の必要性\*\*:

- 若者や子育て世代が住みやすい住宅の不足が転出の理由。
- 過去の成功例として、廃校跡地を活用した住宅整備で地域人口増加が確認されている。

##### 3. \*\*事業計画概要\*\*:

- メゾネット型の賃貸集合住宅(75㎡程度)を2棟建設予定、合計20世帯分。
- 生活インフラ・利便施設が整った旧富河中学校校庭が候補地。
- 災害ハザードマップによる評価や早期着工可能な町有地の利用が候補選定理由。

##### 4. \*\*設計構想—子育て世代を中心とした「ランプエリア構想」\*\*:

- 一時的に安心安全な住環境を提供し、後に町内で定住を促進するための段階的支援策。
- 子育て世代向けの価格設定や居住環境向上、若年層の人口増加を図る。

##### 5. \*\*防災視点の拠点化\*\*:

- 候補地を地域内の防災拠点とし、避難所、給食センター、災害用品の保管場所として活用する構想。
- 三世代交流や地域活性化を目的とした施設整備も計画。

#### ### 主な住民からの意見・懸念:

##### 1. \*\*計画の進行速度に対する懸念\*\*:

- 住民の意見を十分に収集・反映する期間が不足していると指摘。
- スピード感を重視する行政の姿勢に不安を抱く声があった。

##### 2. \*\*協定・説明の透明性\*\*:

- 町の姿勢や山梨県との連携協定に関するより詳細な情報提供を依頼。
- 町民への丁寧な説明が求められた。

##### 3. \*\*候補地の防災性能についての懸念\*\*:

- 洪水リスクへの不安。(ハザードマップによる浸水予測5mを懸念)

- 実際の安全性に対する説明不足が指摘される。

4. **\*\*住環境の長期的な維持・制度設計の考慮不足\*\***:

- 耐用年数や住宅の運用規則(入居条件・期間)への質問。

- 他地域の「箱もの政策」の失敗例から学び、計画の妥当性を慎重に判断するよう提案。

#### 今後の対応:

町は住民意見を集約するためのパブリックコメントを9月10日まで延長し、得られた意見を反映することを約束しました。住民の懸念事項についてはウェブサイトや追加説明会で回答する予定です。また、住民説明会は他地区でも開催予定であり、今回は「富沢地区」で実施されます。

#### 全体の結論:

この説明会で明らかになったのは、子育て世代の住宅建設についての住民意見が事業の成功において非常に重要であることです。町は柔軟性を持ちながら課題に取り組み、透明性の確保と住民との協力を重視する必要があります。